

広報

ひこね

2012

2/1

特集 ひこね市文化プラザ

- 市・県民税と所得税の申告 . . . 8
- 地産池消の取り組みをすすめています . . . 12
- 募集 ふしぎ科学マジック&クラフト . . . 14
- 「子ども110番の家」の設置にご協力を
. . . 21
- 冬こそ…歩き隊！
みんなで健康☆元気になろう！ . . . 23
- 地域創造事業の提案を募集します . . . 24



「彦根ならではの」の文化を育み 心の豊かさを実感できる舞台

グランドホール舞台から客席を見る

バブル経済期、全国各地で競うように豪華なコンサートホールなどの文化施設が建設されました。しかし現在では、催し物が減ってしまった会館や、利用が少なく休館に追い込まれたところが多くあります。その中でひこね市文化プラザが元気に開館できるのは、皆さんに広く利用いただいていることが原動力になっているのだと感じます。

2月に開催する「原点回帰〜プラザフェスティバル〜」では、30を超える芸術文化を愛する団体が一堂に会し、舞台発表や展示を行います。ひこね市文化プラザは、常に発表者や鑑賞者とともにあるのです。

彦根は、古くから交通の要衝であるとともに豊かな穀倉地帯で、江戸時代以降は彦根藩の城下町としてさらに繁栄し、人々の生活が行き交う交流のまちであり、独自の文化



ひこね市文化プラザ
館長代理

筒井 和彦さん

文化プラザの元気が
まち全体の元気に

を発信するまちでした。

ひこね市文化プラザは、この歴史都市・彦根の地域特性を生かした事業を展開しています。「戦国・江戸」をテーマとした「歴史学習塾」は、まさに彦根ならではのものです。今年2月からは、震災を受け、「災害」の怖さを再認識する中、江戸時代に起こった災害について学ぶ講座が始まります。

また、関西では比較的なじみの薄い江戸文化に親しむ催しとして、「金亀亭落語ライブ」の中で江戸落語を定期的に紹介しています。上方落語公演が多い滋賀では珍しく、一味違った取り組みです。伝統芸能では落語だけでなく歌舞伎や文楽などの公演もあります。

さらに新たなチャレンジには、城下町どうしの交流として、一昨年11月に始めたオーケストラ・アンサンブル金沢との文化創造提携があります。音楽を通じて都市間での文化交流を行う試みです。

これからも、常に新鮮な発想で、文化の興隆が彦根全体の繁栄につながるよう、新たな芸術文化の発信に努力していきます。

感動を味わう空間、心の豊かさを実感できる場として、ひこね市文化プラザを広く活用してください。一人でも多くの皆さんにご来場いただくことがひこね市文化プラザの元気の源、何よりのご支援です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



☎ 26-8601、FAX26-8602 ホームページ <http://bunpla.jp/>

彦根市は、彦根城天守と彦根屏風という2つの国宝をはじめ、数多くの素晴らしい文化財に恵まれています。また、江戸期から明治初期にかけては、井伊直弼をはじめ森川許六、日下部鳴鶴などの文化人を輩出しました。これら偉大な先人に倣い、彦根ならではの新しい文化を創造していくことが望まれています。

加えて、生活様式の変化や団塊世代が大量退職する時期を迎えるなど社会状況の大きな変化のもと、文化・芸術に対する関心はより一層高まるとともに、地域・経済の振興や健康・福祉の増進などとの関わりからも、文化振興の必要性は高まっています。

オープンから15周年を迎えるひこね市文化プラザでは、彦根ならではの文化の創造を目指すという開館の理念に立ち返った記念事業を開催します。その事業を紹介するとともに、施設を運営する側、利用する側双方の声を紹介します。

文化の香り高いまちを目指す

市民の文化芸術活動、生涯学習の拠点

彦根市制施行 75 周年
ひこね市文化プラザ開館15周年 記念事業

原点回帰〜プラザフェスティバル〜

2月9日(木)〜同12日(日) ひこね市文化プラザ

彦根市は2月11日(土)に市制施行75周年、ひこね市文化プラザ開館15周年を迎えます。これを記念し、文化・芸術団体や個人が日頃、練習を積み重ねてきた成果を発表し、皆さんに優れた作品や舞台を鑑賞していただく機会として、「原点回帰〜プラザフェスティバル〜」を開催します。

この「原点回帰〜プラザフェスティバル〜」は、クラシック音楽や児童劇、邦楽・邦舞、公民館サークル、舞踊、軽音楽の6つのジャンルで構成する舞台部門と市内8つの地区公民館単位で絵画や写真、書などを展示する展示部門で構成からなり、グラウンドホールをはじめ、ひこね市文化プラザの施設全てを会場とした、文化と舞台芸術の祭典です。

2月9日(木)のオープニングには、地元出身の奏者を中心とした太鼓ユニット「無限 MUGEN」のコンサートを行います。(左ページ参照)ぜひお見逃しなく。

問い合わせ先 市教育委員会文化振興室 ☎ 23-7810番、FAX 21-3080番



オープニングコンサート

日時 2月9日(木) 19:00 (開場 18:30)
会場 グランドホール
出演 ー太鼓ユニットー 無限 MUGEN、彦根古城太鼓
全席自由 ー一般 1,000円 中学生以下 500円
「無限 MUGEN」は、地元「彦根古城太鼓」出身の花原兄弟を中心とし、国内だけでなく海外でも積極的な活動を行っている太鼓ユニットです。激しく、そして洗練されたパフォーマンスをどうぞお楽しみください。

※チケットは、ひこね市文化プラザ、みずほ文化センター、彦根市民会館にて発売中

舞台部門 (入場無料)

【クラシック部門】

日時 2月10日(金) 午後6時30分〜同8時30分
会場 エコーホール
出演 ①木村優子・木村菜乃、②飯川弓恵、③歌声倶楽部ら・ら・ら、せせらぎコーラス、コーラスひびき、ハーモニー南風、④Ever Me's Harmony、⑤彦根市民合唱団フィルハーモニック Shiga (出演順)

【児童劇部門】

日時 2月11日(土) 午後0時30分〜同2時30分
会場 メッセホール
出演 ①人形劇団びつくり箱、②彦根東高等学校演劇部、③彦根西高等学校演劇部、④人形劇「ゼロの会」(出演順)

【邦楽・邦舞部門】

日時 2月11日(土) 午後3時〜同5時
会場 エコーホール
出演 ①錦城会彦根支部、②深山流永真会、③正派若柳流湖粹会、④生田流正派紫会、⑤都流彦根九重会、⑥詩舞道錦城流彦根支部、⑦宮城会・藤野社、筑前琵琶彦根旭城会(出演順)

【公民館サークル部門】

日時 2月12日(日) 午後0時30分〜同2時30分
会場 エコーホール
出演 ①淡海琴佑会、②河瀬キーボード そよ風、③ハラウフラ オカウイオナラニ、④和香会、⑤天父報恩鼓、⑥Southミックス(出演順)

【舞踊部門】

日時 2月12日(日) 午後3時〜同5時
会場 グランドホール
出演 ①S・L・Pバレエ&バントワリングスクール、②カンパニー・ボナテラマーガレット・バレエスタジオ、③春日バレエ彦根支部ダンス部(成人)、④ABA靖本バレエ、⑤中田佳美バレエ教室、⑥小野佳代子バレエ教室(出演順)

【軽音楽部門】

日時 2月12日(日) 午後6時〜同8時
会場 メッセホール
出演 ①Sheep、②ウツリゲ、③SA、④Big X Band (出演順)
※舞台部門は、全て入場無料ですが、入場には整理券が必要です。お持ちでない場合は、当日、チケットセンター(メッセホール棟1階)でお申し出ください。

展示部門 (入場無料)

日時 2月11日(土)・12日(日) 午前9時30分〜午後5時(両日とも)
会場 メッセホール棟
○第1研修室…西地区公民館
○第2研修室…東地区公民館、旭森地区公民館
○第3研修室…河瀬地区公民館、中地区公民館
○視聴覚室…鳥居本地区公民館、南地区公民館
○展示ロビー…稲枝地区公民館

(向かって左から) メッセホール棟、グランドホール棟、エコーホール棟



出演団体の声

「児童劇部門」の打ち合わせをされているところに行き、「プラザフェスティバル」への出演に対する意気込みをお聞きしました。

○人形劇団「びつくり箱」

4年前に文化プラザで行われたプロによる人形劇の講習会に参加し、人形劇を始めました。今回のイベントでは子どもたちの反応を楽しみにしています。

○人形劇「ゼロの会」

結成33年、常に初心に帰ったつもりで続けてきました。今回のイベントでは以前に作った作品をリメイクします。ぜひご覧ください。

○彦根東高校演劇部

小さい子どもたち相手の演劇は初めてで、多少不安ですが、楽しんでもらえるように、アクションシーンを入れたり、演出を工夫したりしています。「分かりやすい劇」を目指しています。

○彦根西高校演劇部

児童劇は初めての挑戦です。この時期は演劇を発表する場がなく、今回のイベントはとても励みになります。



2月3日(金)~3月6日(火)

「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘・弥千代の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛や御殿飾りなどととも公開します。



▲弥千代の雛道具

ギャラリートーク 「雛と雛道具」

2月4日(土) 14:00~15:00

解説：彦根城博物館学芸員

※事前申し込みは不要です。当日、直接展示室1にお集まりください。

観覧料が必要です



— 常設展示の名品 —

常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

2月1日(水)~3月5日(月)

伊勢物語 井伊直弼筆写



若き直弼が、平安時代の歌物語「伊勢物語」を筆写して注釈を書き加えたもの。大量の書き込みから、徹底した学習の姿勢がうかがえます。

常設展示の名品

2月の休館日はありません。
※2月1日(水)・2日(木)は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

ひこね市文化プラザ ☎26-8601・FAX26-8602

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

2月の催し

2月2日(木)・同16日(木)・3月1日(木) 19:00~ メッセホール
ひこね市民大学講座 歴史学習塾 セミナー11
「危機を乗り越えた日本人」~江戸時代に学ぶ日本人の教訓~
【自由】一般3,000円 SP会員1,800円(3講座分) 【発売中】

2月25日(土) 16:00~ エコーホール
金亀亭第10回落語ライブ「立川志らく 独演会」
【指定】一般3,500円 SP会員2,000円 【発売中】

4月7日(土) 19:00~ メッセホール
ワールド・ミュージック・トリップvol.5
フィドルライブ「フリッグ」 [2月11日(土)発売]
【自由】一般3,900円 WMT会員3,300円 SP会員2,000円
5月24日(木) 14:00~ / 18:00~ グランドホール
宝塚花組公演
ミュージカル・ロマン「長い春の果てに」
レビュー・ファンタシー「カノン」・Our Melody・
【指定】一階席7,000円 二階席5,500円
[2月19日(日)発売] ※初日電話予約のみ

5月11日(金) 19:00~ エコーホール
金亀亭第11回落語ライブ「立川談笑 独演会」
【指定】一般3,500円 SP会員2,000円 [2月26日(日)発売]

2月の休館日
6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

最新チケット発売情報



文化プラザだより

★★★ 注目のイベント ★★★

3月20日(火) 14:00~ みずほ文化センター



みずほ文化センター公演 「長唄三味線ライブ」

長唄三味線方として歌舞伎公演、舞踊会などに出演する松永鉄九郎による単独三味線ライブ。楽しいトークにもご期待ください。

【自由】一般2,000円 【発売中】

3月3日(土) 14:00~ グランドホール2階ロビー

ワールド・ミュージック・トリップ特別企画ロビーコンサート 「フィンランド伝統楽器カンテレ~北欧の響き~」

フィンランドの伝統楽器カンテレ奏者・あらひろこによる、北欧の美しい響きをお届けします。ゲストに迎えるトゥバ民族音楽演奏家・等々力政彦との異国音楽の融合もお楽しみください。

【自由】一般500円 WMT会員400円
【発売中】 ※中学生以下無料



※SP会員…スチューデント・パスポート会員(登録無料の学生会員)
※WMT会員…ワールド・ミュージック・トリップ会員

携帯メール会員募集!!

イベントにより、会員限定の特別価格情報を配信!
※右記のQRコードからご登録ください。



▲黒漆塗松竹梅葵橘紋女乗物

江戸の乗物 — 女乗物の世界 —

おんなのりもの

古来、日本で用いられた乗物には、車と輿、駕籠があります。車は車輪を備えたもので、牛などに引かせる乗物です。輿と駕籠は、人が担いで運ぶ乗物です。ヨーロッパ

などでは、古くから車輪を備えた形式が主流を占めました。日本では、車に適した道路の整備が京都以外では整っておらず、また、車は小回りが利かないこと、製作費用が莫大であることから、輿や駕籠が主に用いられてきました。輿と駕籠は、担いで運ぶ点は同じですが、輿は、乗台の底部に担い棒を通した形のものであり、駕籠は、屋根に担ぎ棒を通す構造です。駕籠は、輿のように台を高く持ち上げる必要がないため安定性が良く、材料も少量で済むという利点があり、輿に比べるとより機能的な構造といえるでしょう。そのため、駕籠は、江戸時代に入った頃には広く普及し、人々の生活に欠かせない存在となりました。駕籠は、乗る人の身分や職業に応じてさまざまな種類がありましたが、大きくは2種に分けられます。庶民用のものと貴人用のものです。当時は、前者は「駕籠」、後者は「乗物」と呼ばれ、特に外観

において、両者の違いは明白でした。江戸時代の人々にとって、乗物は、単に移動するための道具ではなく、時には華麗な装飾を加え、権力を示すために用いるものでもあったのです。なかでも、高位の女性が使用する乗物は、「女乗物」と呼ばれ、動く美術品と言えるほど華麗なものでした。江戸時代の風俗を書いた喜田川守貞の風俗誌『守貞謄稿』に、女乗物の特徴が詳しく記されています。この本から、女乗物の外装は5種に分類され、身分によって使い分けられていること、黒漆塗金蒔絵を施したものが最も格が高く、大名の奥方をはじめ、高位の女性が用いたことが分かります。

家紋の橘と松平家の家紋の葵が表されています。内側の天井と壁面には、金地に四季の花鳥が彩り豊かに描かれており、あたかも大書院の壁画を見えるような趣があります。屋根は唐破風という形式で、荘重な印象を与えます。さらには随所にきらびやかな飾金具があしらわれ、まさに、小さな御殿とも言えるしつらえです。

明治を迎え、生活の洋式化が進むと、人力車が普及し、駕籠の使用は絶えてしまいます。弥千代の駕籠をはじめ、今に伝わる豪華な女乗物は、江戸時代に花開いた乗物を飾る文化の頂点を極めたものと言えるでしょう。弥千代の駕籠を手がかりに、江戸時代の乗物のきらびやかな世界に、触れてみてはいかがでしょうか。

(彦根城博物館学芸員 奥田晶子)

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ



第186回

市・県民税と所得税の申告

期限が近づくと、窓口がたいへん混雑します。早めに申告をお済ませください。

市・県民税の申告

市税務課
(市役所2階)
市民税係
☎30-6140

申告のご案内

市・県民税の申告が必要と思われる人には、「申告のご案内」を郵送します。申告書用紙は、申告の受付会場に用意していますので、その場で作成できます。事前に申告書用紙が必要な場合は、市税務課(市役所2階)へお申し出ください。

彦根市では、申告受付を左の日程で行います。「申告のご案内」の送付がなかった人でも、申告が必要な場合は最寄りの会場へお越しください。

なお、**所得税の確定申告**(このページ下をご覧ください)をする人は、**市・県民税の申告をする必要はありません。**

営業・農業・不動産所得のある人は、「収支内訳書」が必要です。事前に作成をお願いします。

申告に必要なもの

▽「申告のご案内」
▽印鑑

▽平成23年中の所得が明らかになる書類(源泉徴収票、支払調書など)
▽営業・農業・不動産所得の「収支内訳書」

▽所得控除の対象となるものに關する書類(医療費、雑損控除の対象となる各種領収書や証明書および医療費の明細書、生命保険料や地震保険料などの控除証明書、国民年金保険料・国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料の支払証明書、寄附金の領収書など)
▽配偶者(特別)控除を受ける人については、配偶者の所得が確認できる書類など
▽身体障害者などの人は、障害者手帳など

年金所得者の確定申告など、**簡易な所得税の申告**も受け付けます。ただし、次に該当する人は、必ず**税務署が開設する申告会場(商工会議所4階)で申告をお願いします。**

▽所得税の住宅借入金等特別控除を受ける人
▽譲渡所得(株式譲渡、不動産譲渡など)がある人
▽青色申告をする人
▽初めて事業所得を申告する人
▽税務署から申告書が送付された人
▽住宅耐震改修・バリアフリー改修・省エネ改修などの特別控除を受ける人

ご注意ください

▼国民年金保険料の控除を受ける場合は、控除証明書が必要です。郵送されない場合などは、彦根年金事務所(旧滋賀社会保険事務局彦根事務所) ☎23-1114番に照会してください。

▼医療費控除を受ける場合は、「医療費の明細書」を申告書に添付する必要があります。事前に作成しておいてください。

確定申告をする場合、彦根市では申告書(控)に受付印を押すことができますので、受付印が必要な人は、確定申告書を税務署の窓口へ直接ご提出ください。



<申告受付日程>

土・日曜日と、平日の12:00～13:00は受付できません。

月 日	会 場	受付時間
2月16日(木) 2月21日(火) 2月22日(水)	稲 枝 支 所 (右図①)	9:00～12:00 13:00～16:00 9:00～12:00
2月23日(木)	亀山出張所 (右図②)	9:00～12:00 13:00～16:00
2月27日(月)	河 瀬 地 区 公 民 館 (右図③)	9:00～12:00 13:00～16:00
2月29日(水)	高 宮 地 域 文化センター (右図④)	9:00～12:00 13:00～16:00
3月 1日(木)	鳥居本地区 公 民 館 (右図⑤)	13:00～16:00
3月13日(火) 3月14日(水) 3月15日(木)	稲 枝 支 所 (右図①)	9:00～12:00 13:00～16:00 9:00～12:00

月 日	会 場	受付時間
2月16日(木) 3月15日(木)	市 税 務 課 (市役所2階)	9:00～12:00 13:00～17:00

この社会 あなたの税が

いきっている



所得税の確定申告

彦根税務署
〒522-0062
立花町5-20
☎22-7640
(自動音声案内)

所得税は、納税者自身が1年間の所得と税額を計算し、申告・納付する仕組みになっています。確定申告が必要な人で、期限までに申告しなかったり、誤った申告をしたりすると、延滞税や加算税がかかることもありますのでご注意ください。

申告会場は彦根商工会議所です

確定申告期間中の申告会場は、



申告書の作成はパソコンで!!

申告会場では、申告書などを自分で作成していただく「自書申告」を推進し、パソコンでの申告書の作成を行っています。

分からないことがあれば、会場を巡回している職員にお尋ねください。

e-Taxで確定申告を

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すると、自宅でe-Taxの申告用データが作成できます。

e-Tax ホームページ
<http://www.e-tax.nta.go.jp>
国税庁ホームページ
<http://www.nta.go.jp>

作成したデータは簡単な操作で電子申告することができます。電子申告に必要な手続きについては、e-Taxホームページの中で分かります。詳しく説明しています。ぜひご利用ください。

年金受給者のための事前集合指導

確定申告が必要な年金受給者のために、次のとおり相談会場が開設されます。どうぞご利用ください。

月 日 2月6日(月)～同10日(金)
時 間 午前9時30分～正午
午後1時～同4時
場 所 彦根商工会議所
4階 大会議室

税理士による相談会場

税理士による相談会場が、左のとおり開設されますので、ご利用ください。

主催 彦根納税協会 ☎22-2836番

月 日 時 間	会 場
2月20日(月) 9:30～12:00 13:00～16:00	稲枝商工会館
2月22日(水)～同24日(金) 10:00～12:00 13:00～16:00	ビバシティ彦根 2階第1研修室

相談会場への入場は、いずれも15:00までです。

確定申告が必要な人は

① 事業所得や不動産所得などがある人、土地や建物を買った人で、

平成23年分の各種所得金額の合計額から基礎控除その他の所得控除を差し引き、その金額に基づいて計算した税額から配当控除額を差し引いて、なお残額のある人

② 給与所得のある人で、
(ア) 給与の年収が2,000万円を超える人
(イ) 給与を1か所から受けていて、年末調整をされなかった給与の収入金額と、給与所得や退職所得以外の各種所得金額との合計額が20万円を超える人

(ウ) 給与を2か所以上から受けていて、年末調整をされなかった給与の収入金額と、給与所得や退職所得以外の各種所得金額との合計額が20万円を超える人
※ 例外もあるので、詳しくは、税務署にお問い合わせください。
※ 給与所得者で、医療費控除、住宅借入金等特別控除などを受けることができる人は、源泉徴収された税金の還付を受けるための申告書を提出することができます。

市・県民税、 所得税申告

ご注意ください

確定申告書は「第二表」も
省略せずに記入ください

公的年金等を受給している
人の確定申告の手続きが変
更になりました

問い合わせ先 国税務課

☎ 30・6140番、F
AX 22・1398番

これまで、彦根市では市・

県民税（以下、住民税）の課
税を行うために、確定申告書
の記載内容だけで確認できな
い項目は、添付資料を税務署
で閲覧し、正確な課税に努め
てきました。しかし、電子申
告（e-TAX）などの普及によ
り、添付資料を省略する人が
増加したため、確認できない
ケースが増えていきます。

所得税に影響がないからと
記載を省略すると、住民税で
控除できずに税額に影響する
ことがあります。確定申告を
するときは、確定申告書の「第
一表」だけでなく、「第二表」
も省略せずに記入してくださ
い。また、「住民税に関する事
項」欄も記入をお願いします。
確定申告書の詳しい書き方
は、「所得税の確定申告の手引
き」をご覧ください。

平成23年度から適用される個
人住民税の改正について

扶養控除の見直しと同居特
別障害者加算の特例措置が改
正されました。所得税は平成23
年分から、個人住民税は平成24
年度課税から適用されます。

扶養控除の見直し

見直し図は下のとおりです。
子ども手当ができたため、

年少扶養親族（年齢が16歳未
満の扶養親族）に対する扶養
控除が廃止されます。
高校の授業料無料化に伴い、
特定扶養親族（年齢が16歳以
上23歳未満の扶養親族）のう
ち、年齢が16歳以上19歳未満
の扶養控除の上乗せ部分（12
万円）が廃止され、扶養控除
の額が33万円になります。年
齢が19歳以上23歳未満の人の
扶養控除額は変わらず45万円

のままで。
なお、住民税の課税につい
ては、一定の所得以下（非課税
基準）の人について、均等割・
所得割を課税しない制度があ
ります。この算定には、扶養
親族の人数を用います。扶養
控除の見直しに伴い、年少扶
養親族（年齢が16歳未満の扶養
親族）に対する扶養控除は廃
止されますが、住民税の算定
（非課税基準の算定）には扶養
親族の人数と
して算入され
ます。

同居の特別障害者に対する
障害者控除の見直し
これまで所得割の納税義務
者の控除対象配偶者または扶
養親族などが特別障害者で同
居する場合は、配偶者控除ま
たは扶養控除の額に同居特別
障害者加算23万円を加え控除
していました。扶養控除の見
直しにより、同居する特別障
害者については、特別障害者
控除の額（30万円）に、23万円
を加算し、53万円を障害者控
除の額とします。16歳未満の
年少扶養親族で、障害者控除
に該当する扶養親族について
は扶養控除額はありませんが、
障害者控除額は適用されます。

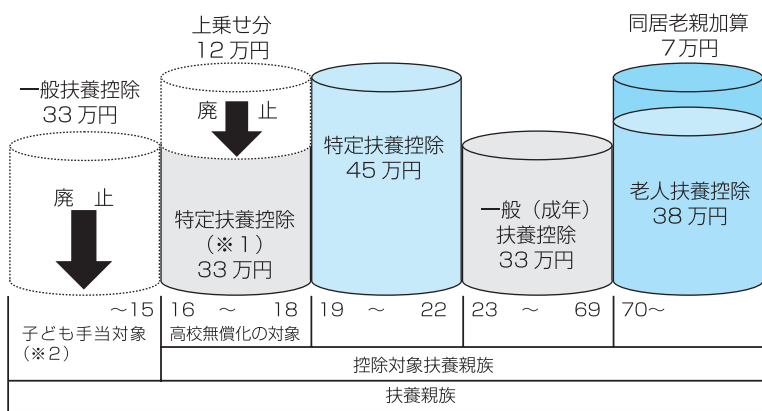
寄附金控除の見直し

寄附金税額控除の適用下限
額が5千円から2千円に引き
下げられました。ただし、平
成23年1月1日以降の寄附金
から対象になります。

震災被災者の負担軽減について

東日本大震災で被害を受けた人は、所得税
などの国税に関して、軽減・免除を受けるこ
とができ、確定申告などの手続きを行うこ
とで、税金の還付を受けることができます。
詳しくは、税務署にお問い合わせいた
るか、国税庁ホームページをご覧ください。

扶養控除見直しのイメージ図



一部の高齢者は
障害者控除が受けられます

困介護福祉課

身体障害者手帳、療育手帳、精
神障害者保健福祉手帳を持つていな
い人でも、福祉事務所長が次の①～
③の条件を全て満たす人と認定すれ
ば、所得税や市・県民税の障害者控
除が受けられます。

認定の条件

- ①市内に住所がある65歳以上の人
- ②介護保険の認定を受けている人
- ③医師の診断などで、中等度以上の
認知症の症状が認められる人、ま
たは6か月以上寝たきりの人

申請方法

障害者控除対象者認定の申請は、
本人か家族の印鑑を持って、困介
護福祉課にお越しください。申請
後、10日～2週間ほどで結果を通
知します。

問い合わせ先 困介護福祉課 ☎ 23・9
660番、FAX 26・1768番

日本経済の「いま」を知る
平成24年経済センサス

困企画課

総務省経済産業省では、平成24年
2月1日を調査期日として、全ての
企業事業所を全国一斉に調査します。
調査結果は、各種行政施策をはじめ
め、地域の産業振興や商店街の活性
化などの地域行政のための基礎資料

銃砲刀剣類の登録審査

県文化財保護課

美術品、骨董品としての火縄銃な
どの古式銃や刀剣類は、銃砲刀剣類
所持等取締法により登録することが
義務づけられています。登録されて
いない銃砲・刀剣類は、他人への譲
渡はもちろん、所持することもでき
ません。必ず登録してください。

日時 2月16日（木）午前10時～午後3
時

場所 大津合同庁舎7B会議室（大
津市松本一丁目）

持ち物

- ①銃砲刀剣類（現物）
- ②警察署発行の刀剣類発見届出済証
- ③審査手数料（1件6,300円）、
または再交付手数料（1件3,5
00円）

問い合わせ先 県教育委員会文化財
保護課 ☎ 077・528・4672
番、FAX 077・528・495
6番

消費生活相談窓口つうしん

第37回

海外からの宝くじの当選通知に
注意しましょう

消費生活相談窓口 ☎ 30・6144番

市内で最近起こった
相談事例の情報をお伝えします。



以前からたびたび海外から宝くじの当選通知という内
容の封書が届いていました。今回は、支払保証済み者6
人の顔写真入りのものでした。当選金を受け取るため
は、2,000円の手数料がかかるということですが、信
用できるのでしょうか。

この相談のほかにも「実際
に手数料を払ったのに、いつ
までたっても当選金が送ら
れてこない、そのうえ次から
次へと別の海外宝くじの当
選通知が来るようになった」
という事例が全国各地で多
数あります。

このような封書はオース
トラリアやドイツ、カナダな
どの国からエメールで送ら
れてきますが、最近中国か
らも増えてきています。

あたかも当選金が無条件
で受け取れると思わせるよ
うな封書を送りつけ、実際
は、宝くじの購入申込をさせ
ています。

海外の宝くじは日本国内
で買うだけでも違法です。絶
対手を出さないようにしま
しょう。
手数料をクレジット払い
にしてトラブルに巻き込ま
れることがありますので、安
易にカード番号を知らせる
ことはやめましょう。郵送を
止める有効な手段はありま
せん。無視して処分してくだ
さい。

このほか、訪問販売の契約
トラブルなど、消費生活に関
することは彦根市消費生活
相談窓口にご相談ください。

広報ひこね 1月1・15日号14ページ「募集」欄のうち「ポルトガル語教室」の記事で「初級Ⅱ」とあるのは、
「初級Ⅳ」の誤りでした。おわびして訂正します。

おわびと訂正

湖東定住自立圏（彦根市と愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町との広域連携）の具体的な取り組み

地産地消の取り組みをすすめています

生産者と小中学生との交流推進事業（彦根市）

城北小学校と彦根西中学校の児童・生徒を対象に、松原農業組合に協力いただき、ダイコンやスイートコーンなどの野菜の植え付けや収穫体験を実施しました。体験後は、児童・生徒から「ダイコンの種を見るのは初めてだったので、あまりの小ささにびっくりした」「自分たちで収穫したものを食べてみて、食と農のつながりや農業の大切さがよく分かった」などさまざまな感想をいただきました。地元の生産者は、



がりや農業の大切さがよく分かったなどさまざまな感想をいただきました。地元の生産者は、

各農作業の指導のほかに、地元の歴史の話もされていて、生徒は興味深く話を聞いていました。

給食を新しい給食センターから提供（愛荘町）

愛荘町給食センターの概要

- ▼町内8校園3,000食を調理提供可能な最新厨房設備機器を導入
- ▼学校給食衛生管理基準に合致したフルドライステムの採用
- ▼安全衛生基準の確保のため、各部屋を壁やカウンタで仕切り、随所にパスル方式を採用
- ▼独立したアレルギー対応の調理室を設置
- ▼カゴごとに自動食器洗浄機の導入による作業効率の向上
- ▼環境に配慮したオール電化熱源システムを採用



食育の発信基地として、町民開放型の調理実習室・研修室を設置し、さらに調理や洗浄など一連の作業を見ることが出来る見学コースも設置しています。

地元農産物の新規需要開拓事業として加工品開発支援事業（豊郷町）

地元で採れた農産物を使い、新たな加工品の開発に取り組まれている2農家が、このたび新規需要開拓事業を活用して豊郷町産の農産物を使った「ダイコンのおろしぼん酢」「たまねぎのドレッシング」「章姫いちごドレッシング」を販売されました。



のPRになれば」と、意気込んでおられ、今後、更なる開発により新たな商品の販売が期待されます。

せせらぎの里（甲良町）

平成24年度建設予定の「せせらぎの里 こうら交流館」は、情報発信基地として、地域のイベントなどを紹介しながら直売施設の拡充も図ります。「交流館」は、年末年始を除き、年中無休で営業し、駐車場・公衆トイレは、24時間使用できるように予定です。平成24年度末には施設の整備を完了し、道の駅の登録を目指しています。皆さんのご来場をお待ちしています。

生産意識の向上へ（多賀町）

多賀町における地産地消の取り組みの一つとして「多賀にんじん」をはじめとする地元産野菜を学校給食に提供し



ています。その割合は近隣と比べて非常に高く、生産者の顔が見える安心安全な食材を次世代を担う子どもに届けたいという大切な役割を担っています。

多賀町は近畿でも有数のそばの産地で、豊かな自然の恩恵を受けつつ、農業や化学肥料の使用を5割以下に減らした「環境こだわり農産物」の認証を受けて、「多賀そば」として皆さんに提供されています。

いずれも地域で採れた農産物を地域で消費するという地産地消の取り組みの中で、消費者へ安心・安全の提供はもちろん、生産者の生産意識の向上にもつながっており、今後も意欲的に取り組んでいたきたいと考えています。

問い合わせ先 両農林水産課
☎30・6118番、FAX 24・9676番

連載企画 「わたしの町の戦国」 第19回

甲崎城―神崎氏ゆかりの平地城館―

◀甲崎町小字図



旧愛知川の流れ

現在の愛知川は、服部町の北で弧を描いて、北から西へと流れを変えています。かつて愛知川の本流は、そのまま北流して甲崎町から湖岸の薩摩町へと流れを刻んでいました。現在も、そのルートは旧愛知川が形成した自然堤防によって土地が少し高くなっており、その上に各集落が帯状に存在しています。甲崎町の集落も例外ではなく、自然堤防に沿って南東から北西へと細長く伸びています。

甲崎城跡

寛政4年（1792）に編纂された地誌『淡海木間攷』によると、甲崎町は、かつて神崎村と称したようですが、寛永年間（1624～44）から甲崎村に表記が変わったと記しています。

この甲崎町の小字名を見ていくと、城館に関連する地名を数多く確認することが出来ます（上図参照）。

まず、現在の集落一帯の小字が「城屋敷」で、その南東側の畑地が「上屋敷」、また北西側の畑地が「中屋敷」、さらに西方の畑地にも「下屋敷」

敷」の小字名が認められます（地図の実線の丸で囲んでいるところ）。

そして「中屋敷」と「下屋敷」の間には、四周に水路を巡らせた内に「本城地」「馬屋」「十居」などの小字名が集中しています（地図中の破線の丸で囲んでいるところ）。また、西側には「代ノ屋敷」「善平殿」などの小字も隣接しています（地図中の実線の二重丸で囲んでいるところ）。この辺りが堀に囲まれた平地城館の主郭であったと想定されます。地元ではこの城館を甲崎城と呼んでいます。

甲崎城を巡る堀は、西方に延びる水路を経由して神上沼、さらに薩摩港・柳川港とも直結しています。両港は、江戸時代に蝦夷地松前へ出た薩摩商人・柳川商人ゆかりの港として知られていますが、それ以前から湖上交通の要所として商業が発達していました。両港に接する甲崎城は、両港の権益にも深く関わっていた可能性が考えられます。

神崎氏

甲崎城の城主と推定されているのが神崎氏です。貞享年間（1684～88）に著された近江の地誌『淡海温故録』には、神崎氏は近江守護



▲かつての甲崎城跡から荒神山を望む

佐々木（六角）頼綱の子孫と記されています。神崎氏高以降、高昌・昌信・賢昌・昌氏と5代にわたって当地に城館を構え、六角氏の下で活躍したと伝えていますが、詳細な史料は確認されていません。

問い合わせ先

両教育委員会文化財課
☎26・5033番、FAX 26・5000番 Eメール bunkazai@mx.hikone.ed.jp

両教育委員会文化財課では、地域に埋もれた文化財資料を探しています。ご存じであれば、ご連絡ください。

平成24年度
市民会館舞台練習場
使用(運営) 団体

〈参加資格〉市内で活動する舞台芸術関係団体のうち、練習成果の発表を目的として定期的な使用を希望する団体で、運営協議会を構成して、日程調整などの運営に携わることができる団体(営利目的の団体などは使用できません) 〈登録方法〉 困教育委員会文化振興室(ひこね市文化プラザメッセホール棟1階)で詳しい説明を受け、お渡しする要綱に従って団体登録申請書を同室に提出してください。 〈申込期間〉 2月1日(水)～同14日(火) 2月5日(木)、同6日(月)、同12日(日)、同13日(月)は休み) 〈問い合わせ先〉 困教育委員会文化振興室 ☎23・7810番、FAX 21・3080番

平成24年度
彦根市秋の文化祭協賛事業
〈協賛事業になると〉 広報ひこね、文化祭ポスターなどによるPRができます。 〈対象事業〉 9月1日(土)～12月2日(日)に開催される展示、発表などの催しで、市民が広く参加できるもの 〈対象団体〉

市内の文化芸術団体、社会教育団体、またはこれらに準ずる団体で、過去に市内外で展示、発表などの活動実績がある団体 〈申込方法〉 申込書に必要事項を記入し、使用する施設の使用許可書が使用申込書の写しを添えて、困教育委員会文化振興室(ひこね市文化プラザメッセホール棟1階)に提出してください。 〈詳細は、募集要項で必ず確認してください〉 〈申込書・募集要項の配布場所〉 ひこね市文化プラザ、市民会館、市役所1階総合案内、支所、各出張所、各地区公民館、高宮地域文化センター、みずほ文化センター、市民体育センターなど 〈申込期間〉 2月23日(水)～3月31日(土) 〈申込・問い合わせ先〉 困教育委員会文化振興室 ☎23・7810番、FAX 21・3080番

湖東地域一般廃棄物処理
広域化事業促進協議会の
傍聴者

〈趣旨〉湖東地域一般廃棄物処理広域化事業促進協議会では、新しいごみ処理施設の建設に向けた取り組みとして、研修会を実施します。傍聴できますので、希望する人はお

申し込みください。 〈日時〉2月9日(木)午後2時～午後3時30分 〈場所〉豊栄のさと(犬上郡豊郷町四十九院)視聴覚室 〈協議会の内容〉ごみ処理施設建設における生活環境影響調査(環境アセスメント)について 〈講師〉滋賀県職員 〈定員〉20人程度(申込多数の場合は抽選) 〈参加費〉無料 〈申込期限〉2月3日(金) 〈申込・問い合わせ先〉湖東地域一般廃棄物処理広域化事業促進協議会事務局(彦根愛知犬上広域行政組合建設推進室内) ☎35・0015番、FAX 35・4711番

彦根市廃棄物減量等推進
審議会の傍聴者

〈趣旨〉ごみ減量化と再資源化を進める方策などを検討する審議会です。会議は公開で行われ、傍聴できます。今回の会議では、清掃センター視察、これまでのごみ対策の検証と課題の整理を行います。 〈日時〉2月13日(月)午後1時～同4時(施設を視察するため、会議は午後2時30分) 〈場所〉(財)彦根市事業公社(野瀬町)2階会議室 〈問い合わせ先〉 困生活環境課 ☎30・6116番、FAX 27・0395番

ウイズ法律講座
ほおくなるほど!!
夫婦の法律知識

※事前申込は不要です。 〈内容〉財産分与や遺産相続に関するさまざまな情報を提供します。 「万が一のときに手続きはどつすればよいのか」「こんな時どうしたらいいの」といった疑問に答えながら、わかりやすく解説します。 〈日時〉2月18日(土)午前9時30分～同11時30分 〈場所〉 困男女共同参画センター「ウィズ」 会議室 〈対象〉 市内に在住・在勤・在学の人 〈定員〉30人 (先着順) 〈受講料〉2000円 (託児) 一人2000円(0歳～就学前、要予約) 〈申込期間〉 2月1日(水)～同17日(金) 〈申込・問い合わせ先〉 困男女共同参画センター「ウィズ」 ☎24・3529番(FAX共用) ※電話、FAXまたは直接窓口へ

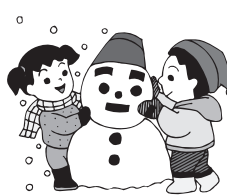
ふしぎ科学マジック&
クラフト

〈内容〉「あら、不思議!」マジックで科学の不思議を体験します。自分でも作って、楽しく遊びます。 〈日時〉2月19日(日)午後1時30分～同3時30分

〈場所〉子どもセンター多目的室 〈対象〉5歳～小学生(小学3年生以下は、保護者同伴) 〈定員〉30人(先着順) 〈参加費〉2000円 〈申込開始〉2月5日(日) 午前8時30分 〈申込・問い合わせ先〉子どもセンター ☎28・3645番 ※電話または直接窓口へ

子育て講座
絵本と親しよう!!

〈内容〉親子で絵本に親しみ、ふれあい遊びを楽しみます。 〈日時〉2月23日(木) 0～1歳は午前10時～同10時50分、2～3歳は午前11時～同11時50分 〈場所〉子どもセンター多目的室 〈対象〉0～1歳、2～3歳の子どもと保護者 〈定員〉各25組(先着順) 〈持ち物〉筆記用具 〈申込期間〉2月6日(月)～同17日(金) 〈申込・問い合わせ先〉子ども未来室 ☎28・1580番、FAX 28・3646番 ※電話または直接窓口へ



統計調査員

〈職務の内容〉国や県が実施する各種統計調査の業務をそのつと依頼します。 〈資格〉市内在住の20歳以上の人で、調査に熱意と責任感を持って取り組み、職務上知り得た調査内容などの秘密を守る人(警察、税務、選挙に直接関係する人は除く) 〈報酬〉調査のつと、支払います。 〈申込期間〉2

月1日(水)～同22日(水) 〈申込・問い合わせ先〉困企画課 ☎30・6101番、FAX 22・1398番

ご城下にぎわい市
出店者

〈開催日時〉3月17日(土)～5月6日(日)の午前9時～午後5時 〈出店場所〉金亀児童公園(金亀町)にある井伊大老像横の

特設テント内 縦90cm×横90cmのスペース 〈対象〉原則として市内で営業している事業主(会社) 〈その他〉販売は、(社)彦根観光協会が行います。費用など詳しくは同協会にお問い合わせください。 〈申込期限〉2月15日(水) 午後5時 〈申込・問い合わせ先〉(社)彦根観光協会(尾末町) ☎23・0001番 FAX 26・1919番 ※協会事務所にあ

市営住宅の入居者

〈内容〉一般向け 4戸、ひとり親世帯向け 1戸(場所など詳しくは広報ひこね1月1日号をご覧ください) 〈受付期間〉2月1日(水)～同10日(金) 〈入居決定の時期〉3月上旬頃 〈入居できる時期〉3月中

る申込書に必要事項を書いて、申し込んでください。

意見公募
手続制度

ご意見を
お待ちしております

第3期彦根市障害福祉計画
(素案)

障害のある人が住みなれた地域で、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法の規定に基づき「第3期彦根市障害福祉計画」の作成を進めています。そこで、素案を公開し、市民の皆さんから意見を募集します。

提出期間 2月8日(水)～3月8日(木) (必着)
素案の公開場所 困障害福祉

次期「彦根市障害者計画」
(素案)

障害のある人が住みなれたまちで地域の人々とともに安心して生活できるまちづくりを行うため、障害者関連施策を推進していく上での具体的な展開方向を示す次期「彦根市障害者計画」の策定に取り組んでいます。そこで、素案を公開し、市民の皆さんから意見を募集します。

提出期間 2月13日(月)～3月13日(火) (必着)
素案の公開場所、提出方法、提出・問い合わせ先 上の「第3期彦根市障害福祉計画」(素案)と同じ

第5期彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
(素案)

「彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を3年ごとに策定し、高齢者の保健福祉と介護保険事業の円滑な推進を図っています。

現在は平成24年度から平成26年度までの3年間に実施する第5期の計画策定を進めています。そこで、素案を公開し、市民の皆さんからご意見を募集します。

素案の公開場所 困介護福祉課、情報公開コーナー(市役所1階)、支所、各出張所、彦根市ホームページ

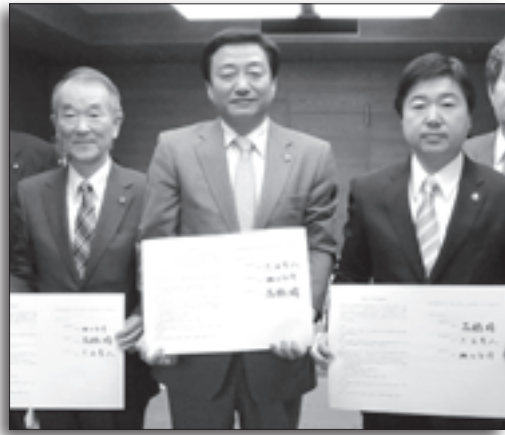
提出期限 2月20日(月) (必着)
提出方法 困介護福祉課に直接お持ちいただくか、郵送、FAX、Eメールで提出してください。

提出・問い合わせ先 困介護福祉課 (〒522-0041 平田町670) ☎23・9660番、FAX 26・1768番、Eメール kaigo@ma.city.hikone.shiga.jp

お寄せいただいたご意見などは、意見に対する彦根市の考え方とともに整理したうえで、彦根市ホームページなどで公表します。お寄せいただいたご意見に対して、個別に回答はしませんので、あらかじめご了承ください。



話題のひろば



昨年の東日本大震災で得られた教訓を生かした大規模災害への備えの一策として、広域的に自治体間の相互支援を円滑に行うための協定を1月16日に結びました。

香川県高松市で行われた調印式では、かねて交流のある茨城県水戸市、高松市、彦根市の3市長（写真向かって右から左へ）が協定書に署名しました。協定には、いずれかの地域で大規模災害が発生した場合、被災地に食料など生活必需品を提供し、職員を派遣することや、避難者を受け入れることなどが定められています。

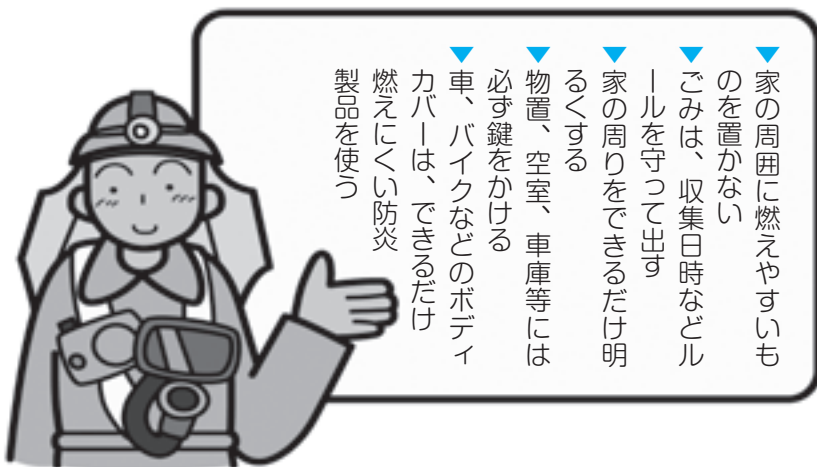
（なお、同日付けで栃木県佐野市とも同様の協定を結びました）

ゆかりのある自治体どうし 災害時には相互に支援します

1月16日、稲枝東小学校で神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏会が開かれ、児童や保護者など500人余りが生のオーケストラの演奏を楽しみました。

曲目はビゼー「カルメン前奏曲」、モーツァルト「おもちゃの交響曲」など、校内放送やテレビでなじみのある曲から、初めて聞く曲まで8曲。児童のリコーダーなどや合唱との共演もあり、子どもたちは大喜び。さらにアンコールでは予告なしに稲枝東小の校歌が演奏され、大きな拍手と歓声が起きました。

学校にオーケストラがやってきた



心がけましょう 放火されない環境づくり

火災件数に占める「放火火災」（「放火」「放火の疑い」を含む）の割合は、年々増加傾向にあり、相手と場所を

夜更けに…
人通りの少ないところ…
無差別に…
行われます。

いつも身の回りで放火が発生する可能性があることを考えて放火火災予防対策をたて「放火されない、放火させない、放火されても被害を大きくさせない」ことを基本に、地域ぐるみで「安全で安心なまちづくり」を目指しましょう。

放火予防のため、上の点に注意し放火されない環境をつくるように心がけましょう。

私たち自身が放火への危機意識を持ち、地域全体で放火されないまちづくりを話し合い、実行することが大切です。

消防だより

問い合わせ先

消防本部予防課 22-0332番、FAX 22-9427番



差別をなくし人権を尊ぶ 彦根市青年集会

昨年は、東日本大震災、台風12号など、甚大な被害をもたらす災害が続いた年でした。しかし、「絆」の一字に象徴されるように、復興に向けた取り組みの中で、「人と人とのつながり」の大切さを再確認する年でもありました。

青年集会では部落差別を題材にした朗読劇を通じて、「差別」「生き方」について、考え合ったり、語り合ったりしながら、「人と人とのつながりを断ち切る差別」をなくし、誰もが笑顔で生きられるまちづくりに向けて、今だからできること、しなければならぬことについて意見交流をしたいと考えています。奮って参加し、大いにディスカッションすることで、人権尊重の輪を広げませんか。

日時 2月5日(日) 9:30～12:00
場所 ひこね市文化プラザ メッセホール（野瀬町）

内容 開会行事、意見交流など
その他 手話通訳、託児あります。（託児は要予約）

問い合わせ先 差別をなくし人権を尊ぶ彦根市青年集会実行委員会事務局（困教育委員会人権教育課内） ☎ 24-7976、FAX 23-9190

ぼくの人権と 友達の人権

川口 裕太さん
（旭森小学校5年 学年は応募時）

十二月に入って先生が、「今日は、人権学習をします。まず、人権という言葉の意味が分かりますか？」と、みんなに質問されました。ぼくはよく聞く言葉だけれど、わしくは分からなく、人権を思いやったり、やさしくしたりすることなのかなあと考えていました。その後、「人権とは人間が生まれながらにもっている幸せに生きていく権利」のことだと知りました。人はだれでも幸せに生きたいと願うのではなく、生きていくのが当たり前のことなんだと、この時初めて知ったのです。

「みんなは学校の中やクラスの中で毎日楽しく、幸せに過ごしていますか？」と、次に先生が聞かれた時に、ぼくは楽しく過ごしているか

ら大じょうぶ!!って思いました。クラスのみんなからは、悪口を言われたことがある、仲間はずれにされていた、たまたかされた、からかわれたなど、たくさん意見が出てきました。クラスのほとんどの人が自分のつらかった体験を話すのを聞いてるうちにぼくも、以前の出来事がうかんできました。クラスの中で、友達は何回も悪口を言われたり、避けられたりしていたことです。その時は、特に何も思わなかったのですが、今日その悪口を言われた友達が、「ぼくは何もしてないのに、ぼくがさわつたらきたないものをばらうようにされてすくいやだった。」と、言った時、これではこの人の人権は守られていない、この人は幸せに過ごしていないと強く思いました。こんな身近にぼくのクラスでこんなことが起こっていることにすぐおどろきました。クラスのみんなが話し合いを進めるうちに見て見ぬふりをしている

人もいじめている人と同じだという意見が出ました。その時、ぼくは心はドキッ!と音を立てました。ぼくがやってきたことはいじめている人と同じだということに気付いたからです。

みんなでこれからどうすればいいか一生けん命考えました。「勇気を出して止めなあんか」「一人が無理なら、何人かで言おうか」「やる前にや

られた人の気持ちを考えたらいいんじゃない?」本当にいろいろな考えがみんなの口から出てきました。この時クラスの心がひとつにまとまった気がして、なんだかすごくうれしかったです。

友達や仲間とはとても大切で、友達がいるからつらいこと、悲しいこともわすれられます。今日の人権学習のおかげで、自分だけが楽しく過ごせればいいのではなく、クラスみんなも楽しく過ごせるよう考えていかなければならないということを知りました。友達のいい所も、悪い所もあなたが理解し、受け止めてい

選評

人権学習をしたことでクラスの友達の声を真剣に聴き、考えている筆者の姿に頼もしさを感じました。友達の話を聞いていくうちに様々な不合理に気づいていく様子に、すばらしい仲間がいることに心打たれました。「ぼくは心はドキッ!と音を立てました。」という文章は印象的です。そして、作品の最後の「ぼくの人権宣言」に拍手を送りたいと思います。

特選作品紹介 第8回

「そんなクラスになることを願って、ぼくの人権宣言!」友達の痛みは、自分の痛み! 気持ちを重ねて分かちあおう!

はーとふるメッセージ

2010

※特に記載のないとき、相談料は無料です。

相談名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
うつ病相談	2月2日(木) 14:00～15:30	彦根保健所 ☎22-1770 FAX26-7540	うつ病は全ての人に起こりうる身近な問題です。心に不安を持つ本人や家族の相談に応じ、医療・保健・福祉の側面から個別に援助を行います。（予約制）
アルコール相談	2月23日(木) 14:00～17:00		アルコール依存症などの問題について、本人や家族の相談に精神科医師、保健師が応じます。（予約制）
こころの健康相談	2月24日(金) 13:30～16:30		心の健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活の様子などを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします。（予約制）
行政書士無料相談会 相続手続相談	2月10日(金) 13:00～15:00	囲まちづくり推進室 ☎30-6117、FAX22-1398	相続に関する手続き（遺言書の作成、遺産分割に関することなど）の相談に応じます。※市内在住、在勤者に限定
若年者就労相談	2月10日(金)・同24日(金) 13:00～15:30	ひこね燦ぱれす ☎26-7272 FAX26-7377	キャリアコンサルタントによる就職相談。適性検査・面接指導をはじめ、職種や職業紹介まで個別指導します。自信を回復して就職に取り組み、自立した生活を目指します。
全国一斉！ 法務局休日相談所	2月12日(日) 10:00～15:00	ビバシティ彦根 2階研修室 （竹ヶ鼻町）	登記、土地の境界、人権擁護、戸籍、遺言、相続、東日本大震災の被災に関することなどの相談に応じます。1人30分程度。2月10日(金)17:00までに申し込んでください。法務局職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員が相談に応じます。 大津地方法務局彦根支局総務係☎22-0291
日曜納税相談	2月12日(日) 10:00～16:00	囲納税課	毎月1回、日曜納税相談窓口を設けて、市税の納付についての相談に応じます。
行政相談委員による 行政相談	2月13日(月) 13:00～15:00	囲まちづくり推進室 ☎30-6117、FAX22-1398	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談に応じます。※市内在住、在勤者に限定
人権なんでも相談	2月15日(水) 13:00～15:00	相談室 （市役所1階）	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談に応じます。 囲人権政策課☎30-6115、FAX24-8577
障害者相談	2月15日(水) 13:30～15:30	囲障害者福祉センター （平田町）	滋賀県身体障害者・知的障害者相談員による、障害のある人の自立や社会参加などに関する相談に応じます。 囲障害福祉課☎27-9981、FAX26-1767
登記 表示登記相談	2月17日(金) 13:00～16:00	囲まちづくり推進室 ☎30-6117、FAX22-1398	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談に応じます。 電話による予約制（受付は2月8日(水)8:30から先着6人） ※市内在住、在勤者に限定
生活相談	2月21日(火) 13:00～17:00	相談室 （市役所1階）	公営住宅、貸付制度、生活保護など、生活に関する相談に応じます。ポルトガル語、スペイン語、中国語でも相談に応じます。 滋賀県求職者総合支援センター☎077-521-5421
滋賀弁護士会 法律相談	2月24日(金) 13:00～16:00	囲まちづくり推進室 ☎30-6117、FAX22-1398	電話による予約制（受付は2月15日(水)8:30から先着6人） 相談料：1回(30分) 5,250円（相談日にお支払いください） ※市内在住、在勤者に限定
子どもと親の悩みの 相談電話	毎週水・金曜日(祝日は除く) 14:00～17:00	囲教育研究所 ☎23-7867	悩みを抱える子どもからの相談、子育てで悩んでいる保護者や家族からの相談に応じます。（電話相談）
よろず相談	毎週水・金曜日(祝日は除く) 13:00～16:00	福祉保健センター 別館2階相談室	仕事のこと、家族のこと、地域のことなど、困りごととよろず相談に応じます。 彦根市社会福祉協議会☎22-2821、FAX22-2841
男女共同参画ウィズ相談室 総合相談	毎週水・木・金曜日 13:00～16:00	囲男女共同参画センター「ウィズ」 （福祉保健センター前） 相談専用ダイヤル ☎21-5757	女性、男性を問わず、心の悩み、夫婦・家族関係、職場の人間関係（セクハラなど）、子どもに関することなど、さまざまな相談に応じます。
男女共同参画ウィズ相談室 専門相談	法律相談 毎月第3月曜日午後		専門相談は、総合相談を受けたあとで、必要な人のみ予約できます。
	こころの悩み相談 毎月第2水曜日午後		「法律相談」では弁護士が、「こころの悩み相談」では臨床心理士が相談に応じます。
理学療法士相談	毎月第3水曜日 13:15～	囲障害者福祉センター （平田町） ☎26-1767（FAX共用）	市内在住で、障害者手帳を持っている人や家族から、リハビリの相談に応じます。電話による予約制（先着6人）

※特に記載のないときは無料です。

行事名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
コミュニティビジネスを考える（勉強会）	2月5日(日) 15:00～17:30	大学サテライト・プラザ彦根 （アル・プラザ彦根6階） （大東町）	内容：働き方研究家の西村佳哲さんを招き、地域で自分らしく生きる上で重要なキーワードとなる「しごと」について考えます。 申込：2月3日(金)17:30までに申し込んでください。 費用：500円 湖東地域定住支援ネットワーク（担当：井上）☎26-0488
新酒とおでんを楽しむ コトコト湖東電（ことでん）	2月11日（土祝）、 同18日(土)、同25日(土)、3月3日(土) 18:32～	近江鉄道彦根駅発 八日市駅間往復 （近江鉄道彦根駅集合）	内容：蔵元の新酒の利き酒や、滋賀県の恵みを取り入れた料理を電車に乗りながら楽しめます。八日市駅発や昼便の運行もあります。各運行日80人限定。 申込：運行日の3日前までに申し込んでください。 費用：一人3,900円（利き酒・料理・電車代、消費税込） 近江鉄道(株)運輸課（びわこ湖東路観光協議会）☎22-3303
ひこね市民活動センター 情報交換会	2月15日(水) ①18:00～19:00 ②19:00～21:00	ひこね市民活動センター （金亀町） ☎24-4461	内容：①NPO、ボランティアに興味がある人への活動団体の紹介 ②さまざまな分野でNPO、ボランティアの活動をしている人の情報交換・交流会 費用：300円と一品持ち寄り（食べ物、飲み物）
湖東圏域 医療福祉フォーラム	2月18日(土) 13:30～16:30	ひこね燦ぱれす 多目的ホール （小泉町）	講演：「子どもを守るために、今、母親の私たちに出来ることは・・・」 講師：富永なおみさん（西脇小児医療を守る会代表） その他：基調報告、パネルディスカッションも行います。 申込：電話か、氏名を書いてファクスで、2月15日(水)までに申し込んでください。 囲湖東健康福祉事務所☎22-1770、FAX26-7540
むかしばなしを聞く つどい	2月18日(土) 14:00～	市立図書館 ☎22-0649 FAX26-0300	内容：昔話などを「語り」でします。 彦根おはなしを語る会
ひなまつりの つどい	2月25日(土) 14:00～15:30		内容：ひなまつりにちなんだお話と工作をします。 対象：4歳以上の子どもと保護者 定員：25組（先着順） 申込：市立図書館の窓口か、電話で、2月1日(水)10:00から申し込みを受け付けます。
お話しひろば	2月18日(土) 14:00～	ふれあいの館 ☎・FAX25-4452	内容：本の読み聞かせ、紙芝居、影絵など 対象：幼児～小学生（幼児は保護者同伴）
彦根朝市	2月19日(日) 7:00～8:00	いろは松駐車場	販売品：新鮮な季節の野菜、卵、漬物など 販売者：彦根朝市組合 囲農林水産課☎30-6118、FAX24-9676
思春期公開講座	2月25日(土) 14:00～16:30 （受付13:30～）	近江八幡市 文化会館 （近江八幡市出町）	講演：「摂食障害の回復 家族・支援者にできること」 講師：宇佐美政英さん（国立国府台病院児童精神科医） 滋賀県立精神保健福祉センター☎077-567-5010
ファミリー・サポート・センター 交流会 「オカリナ ミニコンサート&体験会」	3月3日(土) 10:00～11:30 （受付9:45～）	囲男女共同参画センター 「ウィズ」 会議室	内容：オカリナの優しい音色を聴き、体験もできます。ファミリー・サポート・センターの活動紹介もします。 申込：2月24日(金)までに申し込んでください。 託児：要予約。1人200円 彦根市ファミリー・サポート・センター☎24-3920(FAX 共有)
家族のつどい 「ほっこり」	毎月第2火曜日 13:30～15:30	福祉保健センター2階 第1集団指導室	内容：認知症などの家族を抱える介護者が、介護の情報交換などをする会です。気軽にご参加ください。 囲介護福祉課☎23-9660、FAX26-1768

問い合わせ先 囲危機管理室
☎30・6150番、FAX
22・1398番



（鳥居本学区防災推進協議会）
防災用資機材を整備
地域の安心で安全な活動を進めるために、防災用資機材12点（電池・メガホン・充電ラジオ・かまどセット・発電機など）を購入しました。

宝くじの助成金を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。
平成23年度にこの制度を利用して実施された地域防災組織への助成事業を紹介します。

宝くじの助成金を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。



健康だより

健康推進課（平田町・福祉保健センター1階）
☎24-0816 FAX24-5870

予防接種

ーBCG接種ー

対象

接種当日3か月以上6か月未満児

日程・対象

実施日	対象
3月14日(水)	・平成23年11月30日～12月14日の出生児 ・上記以前の6か月未満児で未接種児
3月30日(金)	・平成23年12月15日～同30日の出生児 ・上記以前の6か月未満児で未接種児

受付時間 13:10～14:10

場所 福祉保健センター 1階

持ち物 母子健康手帳、予診票

※定期BCG予防接種は、原則として、3か月以上6か月未満児が対象です。6か月以上で定期BCG予防接種が受けられなかった人は、任意接種（有料）になりますのでご注意ください。

ただし、基礎疾患があり、主治医から、生後6か月までに集団接種ができにくいと言われている人は、早めに健康推進課にご相談ください。

※平成23年12月生まれのお子さんには、2月上旬頃に、「予防接種のつづり」「すくすく手帳（乳幼児健診のつづり）」をお届けします。

ハローベビー教室

●3月のコース

（お産や育児・交流会）

日時 3月5日(月)

13:30～15:30

（受付13:15～13:30）

場所 福祉保健センター別館2階

対象 妊娠28週以降の人

持ち物 母子健康手帳

※事前申込は不要です。

らくらく禁煙相談

日時 3月14日(水)

9:00～、10:00～、11:00～

場所 福祉保健センター 1階

定員 6人（予約制）

内容

●たばこの検査

・肺の汚れ度チェック

（呼気中の一酸化炭素の濃度測定）

・たばこの依存度チェック

（尿中ニコチン濃度検査）

●たばこの上手なやめ方のアドバイス

複十字シール運動にご協力ありがとうございました

結核予防思想の普及と予防事業の推進のために、10月1日から実施しました複十字シール募金運動に、ご協力をいただきありがとうございました。

今後ともご協力をお願いします。

シール封筒組み合わせ 222組
募金額 53,167円

たちはな号 巡回予定

彦根市立図書館

☎22-0649 FAX26-0300

※駐車場での駐車時間は、1か所当たり30～40分間です。

2月

15日(水)	清崎町浄宗寺 亀山ニュータウン 日夏ニュータウン第2期集会所前	13:30 14:20 15:10
16日(木)	開出今菅原神社 蔵の町団地中央 開出今第2団地（市立病院前）	13:20 14:10 15:00
17日(金)	平田町大沢高岸B公園 西今町松田団地 西今町伊庭団地 若葉小学校東門	11:00 13:20 14:10 15:00
21日(火)	稲里町公民館 稲枝地区公民館前 稲枝駅	13:30 14:20 15:10
22日(水)	千鳥ヶ丘会館横 岡町東光寺前 平田町明照寺前	13:15 14:00 14:50
24日(金)	大藪町農業倉庫 下後三条説教場 中藪一丁目白山神社	13:20 14:10 15:00
28日(火)	新海町公民館 附町公民館 本庄町公民館	13:30 14:20 15:10
29日(水)	普光寺町（東ノ辻広場） 彦富町公民館 金沢町公民館 港屋駐車場東	11:00 13:10 14:00 14:50

図書館休館日 2月20日(月)、27日(月)
(2月後半)

し尿 収集予定

彦根市事業公社

☎23-4135 FAX23-4134

※臨時の収集は、早めにお申し込みください。
（臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します）

※収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。

2月

13日(月)	橋向、後三条(上)、岡、新、芹中、東沼波、小泉、平田(南、中)、甘呂、彦富(笹田団地を除く)
14日(火)	日夏、西沼波(出屋敷)、東沼波、出路、田原、田附、金田、石寺(上、下)、岡部(上、下)、稲部(稲部)、稲枝(西)、服部
15日(水)	日夏、大堀、稲葉(上、下)、本庄、普光寺、薩摩、金沢(金沢団地)、稲枝(西)、太堂、千尋、肥田(西肥田を除く)
16日(木)	大堀、日夏、東沼波、新海、南三ツ谷、甲崎、肥田(西肥田)、稲枝(東)、稲部(稲部東)、野良田、安食中、楡
17日(金)	日夏、河瀬地区、柳川、西川(上、下)、稲部(稲部)、稲里、西沼波(本郷、住宅)、肥田(西肥田)、稲部(南)、彦富(笹田団地)
20日(月)	錦(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、高宮地区、鳥居本地区
21日(火)	高宮地区、鳥居本地区
22日(水)	高宮地区、鳥居本地区
23日(木)	高宮地区、鳥居本地区
24日(金)	古沢、松原(四ツ川を除く)、高宮地区、河瀬地区
27日(月)	河瀬地区
28日(火)	河瀬地区
29日(水)	河瀬地区

問い合わせ先 健康推進課 ☎24・0816番

講師 国際感覚で考えよう 企業人権 吹浦忠正さん（ユーラシア21研究所理事長）

内容 1部 一人ひとりの「命」を守るために… 2部 一人ひとりの「人権」を守るために… 講師 職場の仲間をまもるメンタルヘルスケア 中西一郎さん（滋賀産業保健推進センター所長）

日時 2月23日(木) 午後1時30分～同4時30分
場所 ひこね市文化プラザ エコホール（野瀬町）
参加費 無料
事前申込 不要

自殺対策講演会・人権研修会 一人ひとりの命と人権を守る

Brasilへ ようこそ!



第29回 カーニバルを踊ろう

ブラジルの2月といえば思い浮かぶものが2つあります。1つは、学校からもらった文房具リストを片手に必要なものを慌ただしく探し回る保護者で商店街がいっぱいになることです。ブラジルでは、2月に新学年が始まるのです。

もう1つは、皆さんもご存じのカーニバルです。たいてい2月に行われます。2月頃になるとテレビやラジオは、毎日のように取り上げます。リオのカーニバルは世界的にも有名です。チケットを購入できず、当日のカーニバルのパレードが見られない観光客の中には、せめてパレードが行われ

るサンボドロモという場所で練習風景を見ようと、カーニバルの日の1か月前に訪れる人もいます。

カーニバルといえば「リオのカーニバル!」と言われるのですが、カーニバルはブラジルで始まったものではなく、古代ギリシャで収穫などを感謝するための行事だったようです。それがブラジルに渡ったのはヨーロッパを通じてのことです。

形も目的も最初の頃とは段々と変わっています。リオ・デ・ジャネイロではカーニバルのためのスクールがあり、そこに加入している人々は1年を通して準備を行い、他の国とは少し違ったものが行われるので有名になったようです。

リオ・デ・ジャネイロとは別に、東北部ではまた一味違うカーニバルも行われます。ブラジルにお立ち寄りの際はぜひ見てきてください。

※ブラジルでは「カーニバル」ではなく、「カルナヴァウ」という発音が近いです。つづりはcarnavalです。

【彦根市国際交流員 平田エジナ】



子ども110番の家 各学区(地区)の「青少年育成協議会」が窓口です。「子ども110番の家」設置ご協力ください。

問い合わせ先 彦根市青少年育成市民会議事務局（困りごと青少年課内） ☎26・0994番、FAX26・1768番

2月は 「子ども110番の家」推進月間 設置にご協力を

最近の子どもを巻き込んだ事件に、大人はどう対応すればよいのでしょうか。いつも大人の「目」が子どもに向いている地域づくりを目指すことがまず第一歩です。その一つとして「子ども110番の家」設置運動が地域や事業主の皆さんの理解と協力により始まり、現在約1,850件です。

この活動は、目につきやすい所にプレートを設置し、子どもたちに危険が押し寄せたときの避難場所を確保するものです。多数設置することで、犯罪抑止を目的としています。



健康推進課
(平田町・福祉保健センター1階)

☎24-0816
FAX24-5870

電話番号は、おかけ間違いのないようにご注意ください。

健康だより



畑本佳彦ちゃん
(野良田町)



増田伊織ちゃん
(肥田町)



松本璃紅ちゃん
(地蔵町)



ひこね元気計画21
マスコットキャラクター
“コンキー君”

ひこね元気計画21
推進中!

すくすく ベイビー

市制 75 周年&ウォーキングコース歩き隊 75 回目記念イベント

冬こそ…歩き隊！みんなで健康☆元気になろう！～ひこね元気計画 21 × ビバシティ彦根～

健康なまちづくりを推進する「ひこね元気計画 21」実行委員会は、毎月 21 日を「ウォーキングコース歩き隊」と称してウォーキングをしています。

ウォーキングコース歩き隊がウォーキングを始め、て 75 回目を迎えることと、市制 75 周年を記念して、イベントを行います。

日時 2 月 11 日(土) 10：00～15：00

場所 ビバシティ彦根 1 階センタープラザ

内容

- ▶おすすめウォーキングコースの紹介など
- ▶ビバシティ彦根内の関係売り場・施設から、ウォーキング・運動に関する情報の提供や血圧測定・体脂肪・筋量測定など
- ▶(14：15～ ステージにて)
「ひこね元気計画 21」の P R とともに、効果的なウォーキング方法・冬場のストレッチなどを紹介します。

※ウォーキングコース歩き隊では、スタンプを 12 個集めるとプレゼントがもらえるカードを発行しています。今回のイベントの来場者には 1 個スタンプを押印します。

市制 75 周年&ウォーキングコース 歩き隊 75 回目記念ウォーキング

日時 2 月 21 日(火) 13：30～15：00

場所 けやき道周辺(千鳥が丘公園集合)

特典 参加者に市制 75 周年を記念して作った
ひこにゃんのイラスト入りペットボトル(大数
浄水場の水)をプレゼント(先着 100 人)

問い合わせ先 「ひこね元気計画 21」実行委員会事務局(市健康推進課)



健康だより

集団でのがん検診（追加）

今年度の最終日程です

☆事前に市健康推進課に、電話か FAX で申し込んでください。

☆予約制、先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。

(FAX での申込は、希望日時に受付できない場合のみ連絡します)

☆彦根市が実施する子宮頸(けい)がん・乳がん検診の受診回数は、2 年に 1 回です。

☆注意事項などは、平成 23 年の「広報ひこね」5 月 15 日号と同時に配布した「各種健診日程のご案内」をご覧ください。

定員 各検診とも 50 人

場所 福祉保健センター

対象 彦根市に住民登録があり、検診当日次の年齢に該当する人
子宮頸がん検診 … 20 歳以上の女性

乳がん検診(2 方向) … 40～49 歳の女性

乳がん検診(1 方向) … 50 歳以上の女性

大腸がん検診 … 40 歳以上の人

検診料

子宮頸がん検診 … 900 円

乳がん検診(2 方向) … 1,400 円

乳がん検診(1 方向) … 1,000 円

大腸がん検診 … 500 円

月日	時間	検診項目(※)
2月22日(水)	13：30～14：30	大腸、子宮、乳

※1 種類の検診項目だけでも受けることができます。

使用されましたか 子宮がん・乳がん・大腸がん 検診無料クーポン券

有効期限は
3月31日(火)まで

●子宮がん検診無料クーポン券の対象者

年齢	生年月日
20歳	平成 2 年 4 月 2 日～平成 3 年 4 月 1 日
25歳	昭和 60 年 4 月 2 日～昭和 61 年 4 月 1 日
30歳	昭和 55 年 4 月 2 日～昭和 56 年 4 月 1 日
35歳	昭和 50 年 4 月 2 日～昭和 51 年 4 月 1 日
40歳	昭和 45 年 4 月 2 日～昭和 46 年 4 月 1 日

●乳・大腸がん検診無料クーポン券の対象者

年齢	生年月日
40歳	昭和 45 年 4 月 2 日～昭和 46 年 4 月 1 日
45歳	昭和 40 年 4 月 2 日～昭和 41 年 4 月 1 日
50歳	昭和 35 年 4 月 2 日～昭和 36 年 4 月 1 日
55歳	昭和 30 年 4 月 2 日～昭和 31 年 4 月 1 日
60歳	昭和 25 年 4 月 2 日～昭和 26 年 4 月 1 日

●予約の際、無料クーポン券を利用する旨を申し出てください。

●無料クーポン券は医療機関での検診にも使用できます。詳しくは無料クーポン券に同封されている案内文をご覧ください。

※医療機関での乳がん検診の予約受付は、1 月 31 日(火)までですが、空きがある場合は予約が可能です。

●無料クーポン券をお持ちの人は、平成 22 年度に受診した人も、受診できます。

●無料クーポン券を紛失した場合は再発行ができません。市健康推進課までお越しください。

＜ 広 告 欄 ＞

クレジット・サラ金・過払請求
借金のお悩み
解決します

こんなことで
悩んでいませんか？

- ・誰にも相談できず夜も眠れない
- ・借金が不安で仕事も手につかない
- ・返しても返しても少しも借金が減らない
- ・完済しているのもあるんだけど借金を整理してもらう一度出直したい

勇気を出してご相談ください!!

相談無料 秘密厳守 分割払可能

あい湖司法書士事務所

通話料 0120-001-694
無料

大津市京町3丁目3-1 A&M・OTSUビル2F
(京町3丁目交差点角 JR大津駅徒歩3分)

司法書士/飛渡あい子 司法書士/飛渡 貴之
TEL077-527-0023

相続の借金 相続の借金 会社登記の借金

司法書士による生活問題相談

生活 Q&A

**消費者金融やクレジット会社と
長年お付き合いされていたり、過去に借金を
完済したことはありませんか？**

「過払い金」が発生している可能性があります。今現在借金がなくても、過去 10 年以内に違法な金利を支払っていた場合、支払い過ぎていた利息を返してもらうことができます。

消費者金融やクレジット会社は、違法な金利をとっていることがあります。それが「過払い金」といわれるものです。

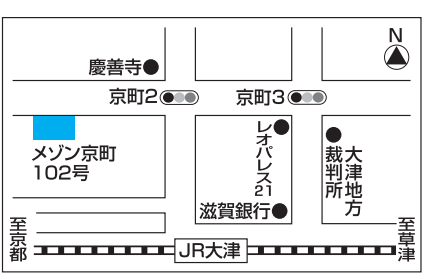
**司法書士法人
宮・坂口合同事務所**

滋賀県大津市京町1-1-47 メゾン京町102号

相談ダイヤル

Tel.077(511)3098

月曜～金曜・午前10時～午後5時
●代表司法書士 坂口航一郎(認定番号512072)



**仏壇 仏具 供養と処分
いたします。**

ご家庭で古くなって現在使用されず処分に困っておられる仏壇や仏具類等をご自宅まで御引き取りにお伺いし、仏壇仏具供養会にて供養のうえ処分させていただきます。

■供養処分料 (特殊な内容の場合は別途料金が必要)

サイズ	供養処分料 (円)
仏具 1 箱 (位牌、仏像、仏画)	3,000
上置 (家具等の上に置く仏壇)	5,000
外巾 60cm 未満	10,000
外巾 60cm 以上 90cm 未満	20,000
外巾 90cm 以上	30,000

■引き取り料 (彦根商工会議所からの距離)

サイズ	15km まで	30km まで	45km まで	60km まで
仏具、上置、外巾 60cm 未満	26,000	28,000	30,000	32,000
外巾 60cm 以上 90cm 未満	30,000	35,000	40,000	45,000
外巾 90cm 以上	36,000	43,000	50,000	57,000

お気軽にお問い合わせください。

彦根仏壇事業協同組合 青年部

0749-24-4022
http://www.hikone-but sudan.net/

★2012年・春★開講クラス★
無料体験レッスン受付スタート!

開催教室 平田センター 彦根ベルロード、ブルドッグ向い

1歳児リトミック クーちゃんランド	2/ 7 (火) 3/ 6 (火)	10:00～
2歳児リトミック くるくるクラブ	2/ 7 (火) 3/13 (火)	11:00～
3歳児鍵盤導入 ピコルわーど	2/18 (土) 3/10 (土)	15:00～

★クーちゃんランド (対象＝平成22.4.2～H23.4.1生)
★くるくるクラブ (対象＝平成21.4.2～H22.4.1生)
★ピコルわーど (対象＝平成20.4.2～H21.4.1生)

無料体験レッスン受付中!
**こどものピアノコース
おとなのピアノコース**

彦根市内 6 教室より 最寄りの教室をご案内します

お問い合わせ カワイ音楽教室 彦根事務所
お申し込みは (彦根市役所ななめ前) 彦根市佐和町7-12
0120-34-0227
受付時間:火曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00
e-mail:hikone@music.kawai.co.jp

ガスを安全にご利用いただくために **ウィズガス**

**ガスファンヒーター
の接続にはゴム管
を使用しないでくだ
さい。**

ガス漏れや火災に
つながる恐れが
あります。

■ガスコード
必ずガスコードで接続

■ゴム管
ゴム管は禁止! ※

※1996 年以前に発売したファンヒーターは一部ゴム管接続の機種もございます。
詳しくはお問合せください。

Design Your Energy 暮らしの明日を お客様センター
大阪ガス 0120-8-94817

湖東定住自立圏（彦根市と愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町との広域連携）の具体的な取り組み

地域創造事業の提案を募集します

湖東定住自立圏構想に基づき取り組みとして、湖東圏域（彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）（以下、圏域）を対象に、平成24年度の地域創造事業を募集します。皆さんの積極的な提案をお待ちしています。

対象となる事業

- ▼応募者が事業主体になるもので、次のいずれかのイベント（事業）
- ▼地域の観光テーマに関連する事業
- ▼地域資源の再発見・掘り起こしにつながるイベント（事業）
- ▼団体や個人の交流を通じて参加者の資質向上につながるイベント（事業）
- ▼圏域の活性化につながるイベント（事業）

対象団体

- ▼提案した事業が実施できる、次のいずれかの団体
- ▼圏域内に事務所がある
- ▼圏域内に在住、在勤、在学している人が主な構成員となっている

募集事業数

圏域全体で、28事業

注意事項

- ①実施時期 4月～平成25年3月

②現行の事業をそのまま応募することはできません。

③応募者が事業主体になる提案に限りません。

④事業の周知や参加者の募集は、圏域内や、圏域外でも行ってください。

提案の方法 「提案書」と「提案団体等調査」（彦根市ホームページからダウンロードできます）を市観光振興課に提出してください。

審査方法 予備審査後、団体から提案説明を受けて決定します。

提案内容の公表 採用された提案内容は、個人情報を除き、圏域の自治体のホームページなどで公表します。

提案事業への支援

▼採用された提案を実施するために必要な経費に対して、1事業当たり上限20万円の支援を行います。

申込期限 3月9日（金）（必着）

審査結果の通知 3月下旬頃。審査終了後、全ての提案者に通知します。

申込・問い合わせ先

市観光振興課 ☎30-6120番、FAX22-1398番、Eメール kanko@ma.city.hikone.shiga.jp

情報政策課からのお知らせ

「広報ひこね」では、読みやすく、より親しみやすい広報紙を目指して、表紙をはじめ紙面デザインの一部を前号から新しくしました。今後、掲載記事の構成も変更していきます。

1日号は、連載している記事を中心に紙面構成にします。1日号よりもページ数の少ない15日号は、「お知らせ版」の性質をこれまで以上に明確にし、「相談」「し尿収集

予定」「たばな号巡回予定」などは、原則として15日号に翌月1か月分をまとめて掲載します（15日号を発行しない1月と8月は、1日号に掲載）。

市民の皆さんと市役所を結び媒体として、情報がより伝わりやすい紙面作りを努めます。今後とも一層のご愛読をお願いします。

問い合わせ先 市情報政策課 ☎30-6103番、FAX22-1398番

表紙の写真

1月10日、鳥居本中学校の生徒と鳥居本小学校の児童が、昔からある遊びのおもしろさを知り、興味・関心を深めようと、一緒に遊んで交流を深めました。

中学1～3年生40人と小学4～6年生35人は、カラム、百人一首、将棋・オセロをトーナメント方式で競ったり、けん玉、羽子板、コマや福笑いなど、昔ながらの遊びを先生に教えてもらったりして楽しそうに遊んでいました。



人口と世帯数

平成24年1月1日現在

人口	112,397人	(-12)
男	55,521人	(+1)
女	56,876人	(-13)
世帯数	44,052世帯	(+12)

() 内は前月との比較



発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行

広報
ひこね
通巻 第1260号
(平成24年2月1日発行)

▼「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。